

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年 2月 1日

事業所名 放課後等デイサービス「たっち」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用人数や、活動内容に応じてスペースを確保している。 ・施設内外広場があり、身体を使って遊べる。	・発達や活動に合わせた機の用意が足りていない為、今後改善が必要である。
	2	職員の配置数は適切である	○		・職員の男女比や職種等偏りがないようにしている。	・基準より多く設置はしているが、利用される方に合わせて今後も検討していきたい。 ・職員のスキルアップをする事が望ましい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・手すりやスロープなど設置している。 ・室内の2階への階段は、両側に手すりがあり両手で身体を支えて昇降する事ができる。	・広場からのスロープが金属の為雨天時は危険を感じる事もある。歩く場所の支援を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・支援内容の打ち合わせや活動内容のねらい等は職員間で共有できるようにしている。	・今後も日々見直しを行いながら、全員が参画できるように努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート結果を職員で共有し、改善に取り組んでいる。 ・日々の送迎時や保護者の方のコミュニケーションを密に行う事で些細な事も意向を伝えて頂けるよう関係作りを心掛けている。	・今後も日々保護者の方とコミュニケーションを図る事で意向を伝えて頂き、業務へ反映できるようにしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページでの公開と共に通所されている方へは、集計結果を個別に配布している。	・アンケート結果から公開していないと思われる方もいた為公開している事への周知を徹底していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・外部評価を行ってはいないが、保護者の方からの評価は頂いている。	・今後必要があれば、法人全体を含めて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・全体での研修と個別に外部での研修の機会(オンライン研修含め)の確保をしている。 ・研修会出席後は、報告なども行っている。	・今後も必要に応じて研修の機会を継続していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・日常的に子どもの様子を話し合い、アセスメントを行い、情報共有しながら計画立案会議に反映している。	・今後も子どもさんのニーズと保護者の方のニーズを面談等で確認しながら、一人一人に合った計画を立てるようになっていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ガイドラインのアセスメントツールに基づいて事業所内で作成したアセスメント表を使用している。	・利用されている子どもさんの発達段階に応じて、アセスメント表に加える項目などを検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・担当者を交代制にし、月毎、休日対応毎に反省をもとに計画を立てている。	・季節の行事や、子どもさんからの意見を反映しながら、活動プログラムを立案していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・同じ活動内容でも子ども達の成長や特性に合わせた活動プログラムを組んでいる。	・季節行事や買い物、外出レク等好評な活動を今後も継続して取り入れていく工夫をする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・平日と学校休業日は子ども達の状態が違う為、応じて施設内活動と、施設外出活動を取り入れ、一人一人に応じた課題を職員間で把握し、取り組んでいる。	・今後も平日と休日、長期休暇に応じて時間や活動内容を子どもさんの意見を織り交ぜながら、検討し設定を工夫したい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別活動と集団活動の時間それぞれを大切にしている。集団活動では、楽しみながらルールや順番等の経験を重ねている。	・今後も一人一人の発達に応じて、組み合わせた計画を作成をしていくようにしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝・昼と全職員で打ち合わせを行い、情緒面等で配慮が必要な子どもさんの状態等を共通理解しておく。	・今後も役割や支援内容を打ち合わせしながら、その日の学校からの伝達事項を踏まえ、状態に応じて臨機応援に役割分担をし、職員全員に行き届くようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・気づいた点や疑問点等振り返りを行っている。 ・当日にできない場合は翌日の朝に行うようになっている。	・振り返りでは、それぞれが発言しやすい雰囲気作りをこれからも作り、共有に努めていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・体調面、情緒面、社会面等の項目において、事実や変化があった事等を記録する事に取組んでいる ・他職員の記録を確認することで、自分の記録や支援の振り返りにも繋がっている。	・事実の記録を残すことや項目において記録することに取組んでいるが、今後も記録の取り方の着眼点等の勉強を職員で取り組みたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	○		・半年に一度、成長が見られた場合や状態が変化した場合にはにはそれ未満で行っている。	・今後も成長に応じて適宜モニタリングを丁寧に行っていききたい。
	19	○		・ガイドラインに則り、活動を行っている。	・今後も様々な活動(施設内活動・施設外活動含め)を組み合わせるよう努めたい。
関係機関や保護者との連携	20	○		・参画した後スタッフ全員で共有できるように時間を設けている。	・サービス提供時間と重複しなければ、出来るだけ複数で参加をすることで、職員の会議への経験を増やし、スキルアップに努めたい。
	21	○		・日々の情報共有を丁寧に行うにあたり、些細な事も連絡を取りやすいような関係性を築いている。 ・下校時間においては二重チェックをして間違えないようにする。	・トラブルの発生においては連絡体制を定期的に見直すことで、対処できるように図りたい。
	22	○		・ご家族を通して主治医と連携をとったり、書類を頂いた上で、支援を行っている。	・ご家族が丁寧に受診などの様子を伝えてくださる。今後ご家族の希望で受診同席が出た場合には同席できるように体制を整える。
	23	○		・児童発達支援事業所から情報提供書を頂いたり、希望があれば見学や会議を行っている。	・保護者の方の同意を元に、見学や情報提供書を通して、スムーズな移行ができるように今後も取り組んでいきたい。
	24	○		・依頼や必要に応じて行っている。	・相談支援専門員やご家族の希望を確認しながら、安心して次のサービスへ移行できるように事業所側も準備をしていくようにする。
	25	○		・会議等を通して、助言を頂いている。 ・機会があれば、連携していききたい。	・連携がとれる体制は整えている。
	26	○		・地域の公園等で交流する機会を設けている。	・現在の状況(コロナ感染症)や子ども達の発達段階から交流の機会はしていないが、今後も地域に外出した際には職員を介して、交流することに取り組んでいる。
	27	○		・今年度から働きかけて、参加できている。	・今後も協議会への参加をしていくように努める。
	28	○		・送迎時や連絡帳等を通してその日のご様子を伝え共通理解できるようにしている。 ・子どもさんの課題だけではなく、些細な事も褒めて成長を共に喜び合う事を心がけている。	・今後も一人一人の保護者の方と共にその日の状況や今後の課題を共通理解できるように関係を深めていきたい。
	29	○		・面談や相談を通して、個別にそれぞれの家庭に対して伝えるようにしている。	・保護者や子どもさんの特性やご家族の状況にあった対応力を伝えていけるように職員で取りくんでいく。
保護者への説明責任等	30	○		・契約時より内容を説明している。	・詳細をみながら、今後も丁寧に説明を行っていく。
	31	○		・その都度応じ、記録に残すようにしている。	・相談頂いた内容や保護者の方の気持ちに今後も寄り添いながら、共に成長を支えていけるようにしていきたい。
	32	○			・保護者からの要望に応じて今後検討していく。
	33	○		・すぐに対応をし、今後どのようにしていくかを伝え、安心して頂けるようにする。 ・自己判断はせずに迅速に報告・相談をし、対応するようにしている。	・今後も一つ一つ教えて頂いた苦情を受け止めて、問題解決に努めていく。また、日常から苦情を言いやすい関係性を築いていけるようにしている。
	34	○		・活動概要は月1度、会報(広報誌)は年に3回発行し、行事や活動経過を発信するようにしている。	・広報誌や活動内容等発信している。今後も更に子どもや保護者の方の興味が持てるように工夫すると共に読み手が変わるので、合った内容を発信する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	○		・書類や掲示物含め情報は留意をしている。	・外部からの見学者等の際も留意を怠らないようにしているが、気を引き締めて取り組みたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・それぞれの特性に合わせて、視覚的な支援(写真や文字、絵カード)を使用している。 ・保護者の方においては面談や電話、メール、文書等選んで頂きながら意思疎通ができるように工夫している。	・送迎時の伝達等、それぞれのご家族からの意思疎通の方法を念頭に置いて取り組む事を忘れないようにする。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・現在のコロナウイルスの状況が落ち着いた時に法人としての行事を考えていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・文章で伝達をするようにしている。 ・コロナの行動制限等法人としてのマニュアルが変更になった場合は文書で周知している。	・周知の方法を今後は検討していく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年に2回実施している。 ・避難所での非常食となる物をおやつとして提供する機会も設けている。	・法人全体での訓練の為、放課後デイ単独の訓練も検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・チェックリストで年2回行い、その後会議等具体的に考えて行っている。	・何が虐待に当たるのかを職員全体で考える機会を積極的に取り入れる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・説明をした上で、同意書を頂くようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・指示書はないが、保護者からの依頼に基づいて職員間で共有し、食物については職員間で周知・共有できるようにしている。	・医師の指示書はないが、家族からの情報提供がある。状況に応じて指示書を頂くように働きかける準備はある。 ・また契約時に食べた事もない物等も確認しておく。(給食提供がある為)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットが起きた場合は、事例を記載し、日々のミーティングですぐに共有するようにしている。	